

# 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター運営推進会議実施報告書

令和 6年 6月 22日

事業所名	大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応通所介護
電話番号	03 ( 3750 ) 8701	報告者 職・氏名	生活相談員
開催日時	令和 6年 6月 22日( 土 ) 13:30~14:30		
開催場所	HOPE部屋(13:30~14:30)		
出席者  8人	(内訳)		
	利用者		
	利用者家族 ●●●様(●●様ご家族)		
	地域の代表 民生委員・下丸子4丁目副会長		
	区・さわやかサポート 包括矢口		
事務局 たまがわ統括事業所長・下丸子在宅所長			
生活相談員兼介護職員・生活相談員			
◆事業運営状況報告・認知症通所介護活動報告並びに今後の予定 別添「事業報告・運営推進会議資料」参照			
◆活動報告・計画に対する評価			
<p>ご家族より：センターに行くのも嫌がらないし、帰って来ても嫌な様子はありません。本当にとても助かっています。いつも「何処か行こう」と言うので夜に1時間位散歩に出掛けています。毎日言われるとツラくなってしまいが、本人がいない時間がしっかりとあるため心に余裕が生まれ、本人に優しく接する事ができます。</p> <p>副会長より：町会副会長として近くにこういった安心できる施設があるのは有難いです。</p> <p>民生委員より：先ほどの活動報告からのイベントについて聞かせて頂き「とても楽しそう」だと思いました。</p>			
◆事業所に対する要望・意見			
<p>ご家族より：沢山の方がいるのにも関わらず、とても良くして頂いて感謝しています。今現在の様子はどうか、カラオケとか唄っていますか？また、以前連絡帳で利用中1Lの水分補給を実施しましたと書いてあったのですが、やはりその位の量は飲ませた方が良いですか？</p>			
◆要望・意見に対する事業所からの回答			
<p>カラオケではテレサテンを唄われ、レク等にも参加され穏やかに過ごされています。今月から開始した入浴についても問題なく実施されています。お話し頂いた飲水量についてはご高齢になるにつれ、喉の渇きを感じにくく、水分を長時間身体の中に蓄えにくい状態になる事があります。一気に飲むというより小まめにチョコチョコ提供する事が脱水・熱中症対策には必要です。量は1日1Lが適当ですが、麦茶でも構いません。気が付いたら飲んでもらう事が良いかと思えます。</p>			
◆地域・行政等からの情報提供			
<p>包括矢口より：資料提供あり。熱中症対策・ちょこボラ・レコード鑑賞会についてのポスター</p> <p style="padding-left: 40px;">6/26(水) フレイル予防 体力測定会 場所 包括矢口 14:00~15:30</p> <p style="padding-left: 40px;">6/28(金) 寄席案内</p> <p>副会長より：コロナ前に比べて交流が殆ど無くなってしまった。夜のイベントが多いが、地域のイベントに来て頂ければと思います。また、以前センターでの夏祭りに婦人会の盆踊りが行っていたとの事。今後進めてもらえれば幸いです。</p> <p>民生委員より：年1回(10月)見守りキーホルダー登録会を実施、高齢者の実態把握に伴い個人情報の同意を得て進めています。更新されていない方が多く見られているため、年1回の更新を</p>			

今後も発信していきます。

(更新が進まない原因の一つとしてコロナによる業務の中止が影響)

今後懸念している事は、やはり震災であり、実際に被災した時にどこまでの支援が必要であるかどうかを各マンションの管理組合と連携してアンケートを作成、結果として何かあったら連絡が欲しいとの回答を多数頂きました。

イベントを実施する事によってコミュニティが作られ人が集まると思っています。これからも地域の活性化も含め、よろしくお願いいたします。

◆質疑応答・意見要望

民生委員より・若年認知症通所介護「HOPE」の利用年齢制限を超えた時には、そのまま「寿」に移行するのですか？

⇒原則として65歳を迎えるとHOPEでの利用は出来ません。そのためご本人・担当CM・支援相談窓口等、各機関と連携・相談を密に実施し、現在のご本人に一番適した場所の提供を検討します。施設への入所が一番多い状況ではありますが、寿へ移行された方、就労への復帰という形で卒業された方もいます。

◆その他・特記事項

次回開催：令和7年2月22日(土) 14:00～15:00